

パリ2024オリンピック代表 赤松 諒一選手 走高跳

「日本勢最高に並ぶ第5位入賞 2m31」

パリオリンピックでは自己ベストの更新および5位入賞を果たすことができ、これまでの陸上人生で最も良い成績、かつ最も楽しめた試合となりました。

予選では2m24を3回目にクリアするという場面もありましたが、序盤の跳躍からより良いパフォーマンスへ徐々に改善させることができ、これまでの修正能力の弱さを克服した試合運びとなりました。

決勝では27を1回ミスしたものの、自己ベストである2m30を1cm上回る高さの2m31を1回でクリアし、5位にランクインできました。本大会では前回大会以上の記録と順位（ブダペスト世界陸上決勝2m25、8位）を目標としていましたが、それも達成することができ、ようやく世界レベルの大会でも実績を残すことができるようになってきたという実感があります。技術的な面では助走のラスト5歩の加速を課題にしてきましたが、今回の跳躍ではそれを上手く調整することができ、スムーズな助走から力強い踏切動作に繋がられたと思います。

来年は東京世界陸上の開催が予定されており、参加標準記録はパリオリンピックに引き続き2m33となっています。自己ベストをあと2cmどこかの大会で更新し、標準記録を突破して出場権を獲得したいと思っています。

応援よろしくお願いします！

